

夏休みの部活動：前半

体育館を閉め切って行う男女卓球部：蒸し暑さは最高レベルです。暑さに負けずみんな頑張っていました。



野球部は新チームも若草中と合同で始動しています。
練習試合では、まだまだ珍プレーが随所にみられます

しかし、練習試合ごとに進歩は見られますので、8月末：市長旗、9月：新人戦に期待！？

8月に入ると、さすがに文化部の活動は吹奏楽部くらい…。コンサートに向けて楽器の音色が響く校内。
校内の各所で各パート別に練習しています。いつも、同じところで練習しているとは限らないんですね…。

8月25日
午後4時
～のキュー
ズモールで
の“たそが
れコンサート”に向け
て、頑張っ
ています！





←男子バスケットは、新チーム当初、校内の草抜き：奉仕活動で始まりました。部員数が最多を誇り、体育館半面では、練習場所が不足しているの



工夫した練習をせざるを得ない。



←反対に女子バスケットは、10名の少数精鋭？で、ゆとりある練習場所です。車コーチに宝代地・山田先生と指導する方も役割分担しています。再創部して2年…。目に見えるほどの進歩ぶりは、現高1、中3の数少ない先輩の「バスケットへの思い」のお陰です。1・2年生もその思いをしっかりと引き継いでいます。

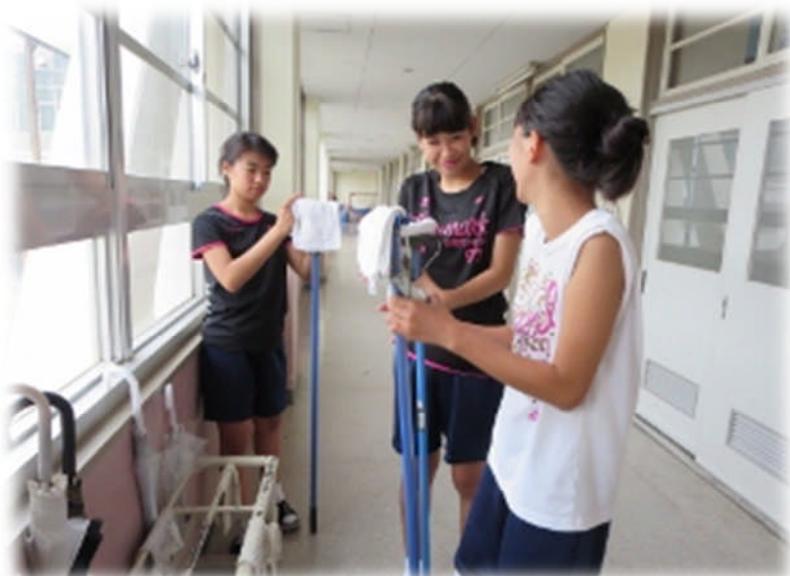


陸上部は、1年生が多数入部し、大所帯となりました。最初の全体練習後は、短距離・長距離・投てき・棒高跳びなどの種目に分かれて、練習しています。女子グループが、楽しそうに練習しているのが印象的…。正に、陸上競技は自分との戦いの様相です。黙々と練習している人もいて、性格が出ているのか？ハンマー投げ・棒高跳び・ハードルなどより技術のいる競技ですが、○君のハードリングが結構上手でした。→





ソフトテニス部は、相変わらずよく練習します！野球部元顧問・山口先生異動後は、校内1の練習量となったのでは？釣谷コーチ、木ノ下先生に夏休みは濱崎先生も加わり、充実した練習・生活が送れています。昼間は、教室でお勉強もして、夕方まで練習。ほぼ1日中学校にいます。指導陣曰く、「とても、素直で明るい部員ばかりなので、今後の成長を期待したい。」とのことでした。



お盆が近づいてくると、部活動もお休みになることが多いです。女子卓球部も夏休み前半の終盤である8日(金)に、校舎内の清掃をしてくださいました。夏休みは教室は使わなくとも、階段・廊下・便所等はほこりがたまるもの。笑顔でモップをしている女子卓球部員に感謝です。↑

↑顧問の先生も自ら清掃を… 当たり前のように、その当たり前のことを出来ることが大切です。男子バスケットも夏休み最初に草抜きをしてくださいましたが、目立たないところで学校のために頑張っている人達があります。そういう人達に気づき、増えていくことがより良い学校を作る原動力となります。

夏の総体を観戦して・夏休みに思うこと…

クラブ顧問にとっては、「夏休みに入った！」と言っても阪神大会に出場する場合や吹奏楽は、ホッとすることもなく“勝負・本番モード”を持ち続けます。生徒たちも同じですが、監督である顧問教員は、最後の大会・演奏会でいい思い出を…という気持ちで1年生から指導してきて、最後の全力投球をします。夏の総体…どの種目の会場を回ってみても、生徒と先生、更には保護者の思いを感じます。勝敗は勿論大事ですが、それ以上に見えないクラブでの盛り上がりや成果・成長を感じているのは、私だけではないでしょう。こういう日本の中学校の部活動風景が脈々と

続いています。OECD の調査結果で「日本の教員は、1週間の勤務時間が参加国中最長であるとのこと。」平均が38.3時間、日本が53.9時間とかなり長いです。部活動と事務的業務が長いのがその一因となっています。夏休み、クラブ顧問は担当授業も事務仕事もほとんど無いので“生徒と向き合う時間”に集中できます。日々の生徒との関わりで、教員自身が研修し、成長するという事が机上の研修よりも役に立つと考えます。早朝より、頑張っている生徒・教員には頭が下がります。中には、練習後に校舎内で自主勉強させて1日中、面倒を見ている部もあります。ある意味、時代に逆行しているかもしれませんが、頑張る生徒や先生を制度的・経済的に援助しなければ、この文化は消滅するでしょう。時代は変わっているのに制度的・経済的なものはほとんど変わっていません。現場の努力だけでは、限り貧乏になっているのが現状です。保護者・地域、そして行政の支援を期待したい。

(文責: 学校長)



←柔道部 今回、掲載出来ませんでした。1年生部員の成長は目をみはるものがあります。2学期以降にご期待下さい！